



神戸大学交響楽団

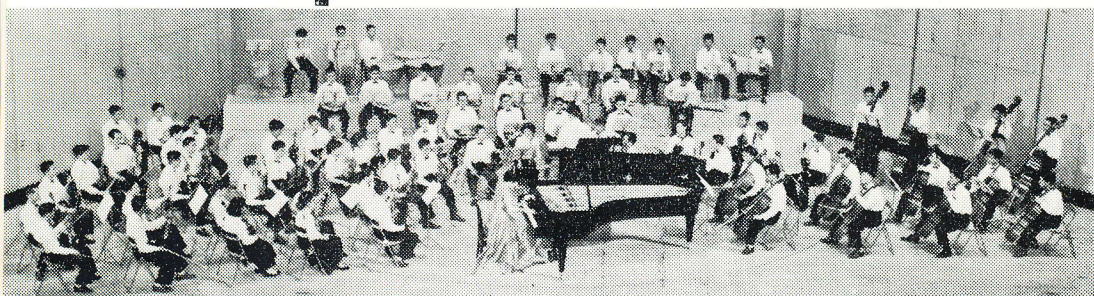
富山演奏会

賛助出演

富山大学交響楽団

とき 7月18日（金）午後6時

ところ 富山公会堂



PROGRAM

バイオリン 独 奏 伊 藤 黎 子
 指 揮 小 泉 良
 演 奏 神戸大学交響楽団
 賛助出演 富山大学交響楽団

I 舞踊組曲 「白鳥の湖」 作品20 チヤイコフスキー

II バイオリン協奏曲ホ短調 作品64 メンデルスゾーン

アレグロモルト アパツシヨナート
 アンダンテ
 アレグレット ノン トロツボ

——休 憩——

III 交響曲第五番ハ短調 作品67 ベー トー ペン

「運 命」

アレグロ コン プリオ
 アンダンテ コン モト
 アレグロ プレスト
 アレグロ

I

白鳥の湖

バレエ音楽として最もすぐれたものの一つで、1897年モスクワで初演された。初演は成功しなかつたが曲のもつ美しさはしだいにみとめられ今日では最も多く上演されるバレエとなつている。

物語は王子と悪魔によつて白鳥に変えられた王女とが悪魔による色々の障害をものりこえて遂に結ばれるという筋である。本日演奏される組曲は、このバレエ音楽の各場面より美しい音楽を抜萃し、演奏会用にまとめたものである。曲はチャイコフスキー特有の美しいメロディーにあふれ多くの愛好者をもっている。

III

交響曲第五番 「運命」

全ての交響曲のうちで最も多く演奏され、親しまれている。

荘厳で崇高な大曲で楽器編成にしても当時としては画期的な大きさをもち内容としても型破りに劇的なものである。

運命という名は後人のつけた名であるが、この曲の一番初めに出て来る主題に就いてはベートーベンが「運命はかく扉を叩く」と語つたというところから来ているのであろう。

解 説

II バイオリン協奏曲

この協奏曲はメンデルスゾーンの全生涯に残された凡ゆる作品の中で最も華麗で且気品の高いものであり、ロマン派音楽の金字塔といわれている。ベートーベン、ブラームス、チャイコフスキーの協奏曲と共に四大バイオリン協奏曲と認められている。

曲は三楽章の標準的な構成によつているが、各楽章は続けて演奏される。曲のもつ女性的な感じはベートーベンの男性的な感じとよく比較され前者をイブ後者をアダムと評されている。

神戸高商―経済大学―を母胎とし、戦後、総合大学となつた神戸大学でいち早く結成された神戸大学交響楽団は戦前の華やかなオーケストラ活動を受け継いで本年で結成以来満八年を迎えた。学生指揮者を伝統とし、二管編成五十数名で、神戸地区唯一のアマチュア交響楽団として広範な活動をつづけ注目をひいており、部員一同は技術の向上と同時に、学生らしくということと、互いの人格の向上をめざしている。春秋の定期演奏会、三大学交歓音楽会、全関西アマチュア交響楽団連盟定期演奏会、卒業演奏会、文化祭、夏期演奏旅行等々が例年の行事となっている。

紹介

神戸大学交響楽団

Conductor 小泉 良

Concert master 辻 本 博 司

1st Violin	辻 本 博 司 田 中 ミ 子 野 中 奎 助	伊 藤 黎 子 白 滝 和 子 松 尾 正	長 谷 川 昌 治 田 中 清 三 郎 橋 本 一 豊	清 水 淑 子 水 野 利 昭 高 本 幸 子
2nd Violin	西 村 公 男 堤 昭 二 武 貞 延 也	藤 原 興 栃 尾 武 森 長 一 郎	福 田 英 子 田 端 春 彦 石 田 隆 徳	三 宅 久 子 玉 井 昭 安 栗 城 俊 子
Viola	田 中 真 弓 稲 岡 述	松 本 輝 雄	西 本 寛	吉 田 喜 一 郎
Cello	坂 本 力 鈴 本 肇	寺 岡 秀 展	月 足 脩 二	藤 田 貴 久
Bass	高 橋 登	村 上 礼 隆	鳥 山 喬	安 田 穰
Flute	高 橋 一 三	中 村 民 子	馬 淵 勇	種 稲 脩
Oboe	森 安 貞 夫	仁 井 清 喜		
Clarinet	渡 辺 省 三	四 本 喬 介		
Fagot	児 島 謙 太 郎	堀 俊 男		
Horn	岡 田 和 夫	吉 田 昭	田 村 嘉 崇	進 藤 悟 郎
Trumpet	川 端 欣 爾	中 本 規 久 生	東 広 治	前 田 長 利
Trombone	高 本 登	橋 本 昌 武	水 垣 健	岩 本 靖 弘
Timpani	磯 部 浩	笹 井 克 己		
Percussion	津 田 昌 男			